



# 学校だより

## 2月



令和5年1月30日

横浜市立本宿小学校

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/honjuku/>



## スマイルあふれる『梧桐ウイーク』

校長 松比良 聡夫

1/23の朝会で6年生が開会宣言を行い、PTA会長の倉本様から記念品が贈呈されて、梧桐ウイークが始まりました。二胡奏者の本多ゆとり様と、フットバックプレイヤーの石田太志様によるクロストーク講演会も実施していただくなど、1/27までの一週間は、学校全体がお祭りムードに包まれました。

PTA委員・本部役員の皆様が、校舎内にクイズの掲示やポスターなどの飾り付けをしてくださいました。体育館にはスマイル列車を掲示していただき、学級ごとの貨車に子どもたち一人一人が作ったスマイル君の切り絵を載せて、中学校をめざして出発しています。(本校ホームページにも写真を掲載しています)

本校PTA主催の『梧桐祭』は、コロナ前には保護者や地域、学校開放の方々も参加して、毎年土曜日に盛大に開催していました。体育館でのクラブ発表も大きなイベントの一つでした。しかしコロナ禍の令和2年度は、梧桐祭を実施することができませんでした。

コロナ禍でも、子どもたちや学校を少しでも盛り上げようと、PTAの皆様が工夫を凝らして、昨年度から平日一週間の『梧桐ウイーク』として開催してくださいました。土曜日開催を復活させたい思いもありましたが、本校職員の7割以上が未就学児・就学児の親であり、土曜日の行事が厳しい状況をご理解いただきました。クラブ活動も時間数が減少し(月に一回程度)、「異学年交流を楽しみながら成長する場」という位置付けになり、発表を目指すという性質ではなくなってきました。

教職員もPTA委員・本部役員の皆様の思いを受けて、子どもたちと職員も一緒に梧桐ウイークを盛り上げようと考えました。時間的に特別なことはできませんでしたが、『これまで学習してきたことの中から、できることを発表しよう』『保護者の方が学校に来る機会をつくろう』『互いに顔の見える場、ふれあいの場をつくろう』などと考え、短期間で準備を整えました。

子どもたちは発表の場があり、主体的に梧桐ウイークに関わることができ、生き生きと準備や練習に取り組んでいました。教職員はそんな子どもたちに達成感を味わわせたい、保護者の方々にも見ていただきたいと、学年末に時間を作り出すことに苦労していましたが、精一杯取り組みました。

この文章を書いている現在(1/25)、子どもたちは「クイズの答え、もう分かったよ!」と笑顔で話しながら、27日の発表を楽しみに準備をしています。PTAの皆様と子どもたちと教職員とで作り上げる新しい形の梧桐ウイーク、上手いかないことも多々あると思いますが、参観にお越しいただいた際には、一緒に参加して楽しんでいただければと思います。そして、今後の梧桐ウイークや学校づくりを、ともに考えていただきたいと思います。

子どもたち、保護者の皆様、教職員のスマイルがあふれる梧桐ウイークを計画・実施して下さったPTA各委員・本部役員の皆様に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。